



育英サタデー 幼児部で

1月28日、育英サタデースクールマンハッタン校(牧野佳代子ディレクター、園児児童生徒数138人)は、幼児部にて恒例の「節分の集い」を実施した。各クラスでそれぞれが退治したい鬼をモチーフにお面を制作し、わくわくしながら被って集まった。

子どもたちはまず、ヒイラギなどの鬼にまつものや豆が嫌いな鬼についての話を聞き、「節分」の次の日から春「立春」と知って驚きの声を上げていた。その後、手作りのお面について

の発表を聞いた節分クイズに答えたりし、豆まきの歌や踊りを楽しんだ。そして、いよいよ豆まきの時。子ども達一人ひとりが手作りした鬼の面をしっかりと身に付け、紙で作った手作りの福豆を升や入れ物に入れて、準備は万端。「悪い子はいないか!」と登場した鬼役の先生を目掛けて、「鬼は外!福は内!」と豆を投げ、力を合わせて鬼を追い出した。

日本語でサマーキャンプ 参加者の募集を開始

東京・フロストバレーYMCAパートナージョイントは、今年も日本語のサマーキャンプを実施。このほど参加者の募集を開始した。キャンプ地はキヤッツキル自然保護区にあるフロストバレーYMCA(NY州クラービル、フロストバレーロード2000番地)で、自然環境、施設、スタッフ、プログラムの全てで北米キヤッツキルモデルとして高い評価を得ている。昨年は294人が参加した。今年のプログラムは、6月25日から8月18日の間に4期予定されている。1泊13日の「チャレンジキャンプ」は、6月25日から7月21日まで行われる。2泊27日の「4ウィークキャンプ」は、8月6日から13日まで行われる。7泊8日の「1ウィークキャンプ」など。豊かな自然環境の中で、多くの仲間と出会い、楽しみ、自己を確立し、国際人としての足場を築く。そんな貴重な体験ができるサマーキャンプだ。問い合わせは日本語でEメール tokyo-info@fostallevoyg.com、申し込み・詳細はウェブサイト www.ymcaofny.org

プリンス頓日本語学校 幼稚園部 節分豆まき

1月29日、プリンス頓日本語学校(齋藤和彦校長)では冬空の下、幼稚園部で節分の豆まきが開催された。児童たちは教室で豆まきの話を聞いた後、鬼のお面を各自作成した。お面を付けて校舎を出ると、赤と青の2匹の鬼(に扮した保護者)が登場。突然現れた鬼たちを怖がる児童もいたが、先生に「怖がっている子を守ってあげてね」と言われると、率先してみんなで豆を投げた。何度も先生に豆の補充をねだって、一杯「鬼は外、福は内」と掛け声を上げながら、最初は怖がっていた子供たちも、最終的にはみんな笑顔で、改心した鬼を最後は見送る形で豆まきは終了した。児童の一人は「鬼は、手がヒューマンみたいだったから人間と鬼のハーフだった。また、豆まきをやりた」と興奮さめやめ様子を語った。寒空にこだまする歓声は、保護者もほっこりさせ、児童も鬼も、教員も保護者も「福来たる」時間を過ごすことができた。

節分

リセ・ケネデー 節分集会

リセ・ケネデー日本人学校(新元良一校長、全日課程幼稚園部は3日、外部の人も招いて節分集会を行った。子どもたちは鬼のお面を作ったり恵方巻を食べたりして、「どんな鬼が来るのだろう」とこの日を心待ちにしていた。集会では、まず保育士が節分の紙芝居を読み、その後みんなで豆まきの練習。そこへドーンと鬼が登場した。「鬼は外!福は内!」という威勢のいい掛け声をかけながら、子

NJ補習校 幼児部で

1月28日、NJ補習校(高畑誠)は幼児部「節分の集い」を行った。鬼のお面をつけながら集った子ども達は、司会の先生からなげみんなどの頭に鬼のお面がついているのか質問された。「節分だから」「鬼をやっつける!」などと答えてきた。その後は幼児部スタッフの寸劇タイム。日本から来たもも子(祖先は桃太郎)がNJ補習校に転入したと思ったら、そこは友達のおもちゃを取ったり、片付けをなまけたり、すぐ泣いたりすると先生からすくすく褒められる。鬼の学校だった。なんとかNJ補習校に戻り、鬼先生は3

部で節分の豆まきが開催された。児童たちは教室で豆まきの話を聞いた後、鬼のお面を各自作成した。お面を付けて校舎を出ると、赤と青の2匹の鬼(に扮した保護者)が登場。突然現れた鬼たちを怖がる児童もいたが、先生に「怖がっている子を守ってあげてね」と言われると、率先してみんなで豆を投げた。何度も先生に豆の補充をねだって、一杯「鬼は外、福は内」と掛け声を上げながら、最初は怖がっていた子供たちも、最終的にはみんな笑顔で、改心した鬼を最後は見送る形で豆まきは終了した。児童の一人は「鬼は、手がヒューマンみたいだったから人間と鬼のハーフだった。また、豆まきをやりた」と興奮さめやめ様子を語った。寒空にこだまする歓声は、保護者もほっこりさせ、児童も鬼も、教員も保護者も「福来たる」時間を過ごすことができた。

小学5・6年の部

画数の多い漢字は正しい書き順を確かめ、小さな画も丁寧に書き表します。

国や地域の文化や習慣のちがいを知り、多種多様な個性や考えを受け入れることが大切だ。

小学3・4年の部

漢字、ひらがな共に「はらいとはねの方向」に気をつけて書きます。

広い世界に目を向けると、自分の考えや意見も大きく広がる。

小学1・2年の部

漢字の書き順を確認し、力強く大きな字を書くようにしましょう。

学校にはいろいろな国の子どもがいます。

幼児の部

鉛筆を持つ手も紙を抑える手にも力を入れてゆくり書きましょう。

おともだち

硬筆書写コンクール

硬筆書写コンクール2023年度第49回目春期の課題を発表します。ワンポイント・アドバイスを参考にし、見本にある各レベル別の課題を規定用紙に書写し応募してください。

応募の締め切りは次の通り。
第1回選考 作品発表3月11日号
第2回選考 作品発表4月8日号
締め切り3月30日(木) 必着

協賛：米國ゼブラ社

文字中心を揃え文字間隔を均等に保ちながら、一点一画を疎かにせず書きます。国籍、人種、肌の色、宗教、政治や個人の思想の違いを認め、受け入れながら、人は協調性を保ち、社会は進歩する。

高校・一般の部

行書の漢字仮名交じり文は流動的で煩くない書き表しを心掛けます。連続記号も含め最後まで息を抜かず書きます。

無分別 むぶんべつ
優劣、大小、遅速、高低など物事を比較区別するような考えを戒めそのもの、価値を知ること

応募規定

応募は必ず指定の書写用紙を使用してください。規定用紙は、弊紙デジタル版のウェブサイト(www.nyseikatsu.com)からダウンロードできます。学年/年齢別の「課題」を書写し、用紙の下端にある必要事項(団体名、連絡先等)を記入。

他団体やコンクールに未提出で作品であることが前提。応募作品の返却はできません。原則として米國に在住の方の応募に限定。

紙面掲載作品の中から年間最優秀大賞(優秀賞、年間一番作品点数が多かった団体・学校・教室単位)に団体賞を選出し、協賛の米國ゼブラ社より豪華筆記用具景品の賞品が贈られます。

すっきりかわいく、ととのえる。 **マイルドライナー**

落ち着いた色のラインマーカー

たくさんマークしても淡い色味で目に優しい。

MILD LINER
マイルドライナー

ZEBRA
www.zebrapen.com

[水性顔料]太・細両用